

学校名 草加市立小山小学校
所在地 埼玉県草加市小山2丁目8-1
電話 048-941-1701

1 本校の概要

本校は学級数 14 学級、児童数 402 名の中規模校である。学校教育目標は「進んで学ぶ子・思いやりのある子・体をきたえる子・ねばり強い子」とし、確かな学力の向上と健やかな心身の育成を目指している。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 読書に親しむ態度や読書週間に係る取組

(2) 実践の概要

ア 読書タイム(毎週月・木)・読み聞かせ (GoogleMeet 活用)

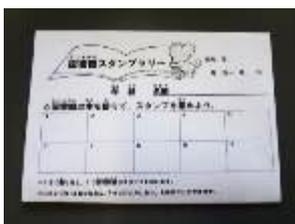
朝の時間(10分間)を朝読書の時間とし、学校全体で読書活動に取り組んでいる。また、いつでも読書ができるように、学校図書館からクラスの児童数分の本を借りて教室に配置している。

イ 草加市立中央図書館の活用(隔週金曜日)

各クラスが児童数分の本を借りて、教室に配置している。

ウ 図書イベント「読書スタンプラリー」(6月)

1か月間、読書スタンプラリーを行った。本を借りてスタンプを集め、10個貯まったら図書委員が作成した「しおり」をもらえることもあり、多くの児童が意欲的に参加した。また、校内放送で一番貸出の多いクラスを発表し賞状を渡すなど、学校全体で競い合いながら楽しく取り組めるイベントとなった。



エ 図書イベント「50音をさがせ！」(10月)

読書週間に合わせて、「50音をさがせ！」と題し、学校図書館から、50音のそれぞれの文字から始まる本を探して読み、スタンプを貯めるイベントを行った。普段読まないようなジャンルの本に触れ、読書の幅を広げることができた。



オ 家庭との連携「ふれあい読書」

今年度から、夏休み期間に親子で本を読み、より良い読書習慣を身に付ける活動「ふれあい読書」を全学年で取り組んだ。方法として、①家族から子どもへ②子どもから家族へ③みんなで一緒に読み聞かせをし、感想を話し合った。家族の方からも、「久しぶりに楽しい時間だった。」「上手に読んでいてびっくりした。」「これからも読書の時間を作っていきたい。」など、多くの成果があったことが伺えた。



カ 季節に合った「おすすめの本」の配置や掲示物

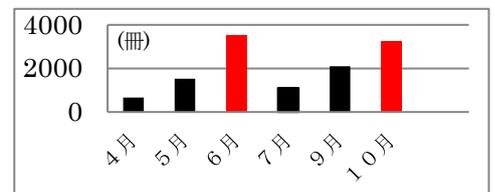
毎月、季節に合ったおすすめの本コーナーを配置し、児童が学校図書館に通いたくなるような季節の掲示を行った。また、学校司書による参加型掲示(七夕の願い事・クリスマスツリー作成など)や紙芝居も人気で、それを目当てに学校図書館に来る児童も増えた。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ・ 「ふれあい読書」を行うことで、親子で読書をする楽しさを知り、読書への興味関心を高められた。また、今後のより良い読書習慣を身に付けるきっかけとなった。
- ・ 図書イベントを行うことによって、児童が学校図書館に足を運ぶことが増えた。それによって貸出冊数も増え、児童の読書意欲の向上につながった。



(2) 課題

- ・ 低学年の貸出が全校の50%を占め、利用率は増加傾向にある一方、高学年の利用率が低い。高学年が興味をもてる蔵書を増やし、より良い図書館作りが課題である。

(3) おわりに

今後も、児童が利用したくなる学校図書館の環境整備を行い、これまでの取組を継続しながら、児童にとって魅力のある図書館を目指し、読書意欲の向上に努めていきたい。また、家庭との連携もさらに深めていきたい。